

柏木ビジョン

新宿区立
柏木小学校

2024.6.6

4年生 国語 「アップとルーズで伝える」を伝える コース別 発展コース

発表を聴いて、新たに気付いたことをまとめよう

今日の授業の確認をして、授業が始まります。子どもたちには、すでに段落ごとの学習指示が出ていて、4段落までは、教科書を中心に内容をまとめること、5段落以降は、自分たちが理解したことや解釈したことを入れ込んだ発表とするとのことでした。

授業が始まり、各グループで、発表の準備と確認が始まりました。

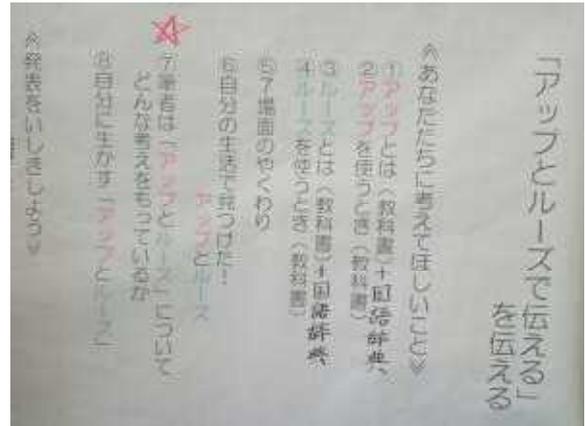
「ねえねえ、机をくっつけよう。」

「スライドショーを開いて!」

と、机をつなげるグループや、発表の内容を声に出して復唱するグループ、全員が立って、発表しながらの練習をするグループもあり、一気に教室内にぎやかになります。発表シートをそれぞれが分担して作成しているグループも多く、練習から緊張する姿が見られました。

さあ、発表するよ

発表前に菅野先生から、「どんなふうに聴けばいいかな」という質問に、「目を見て聴く」「メモをとりながら聴く」と答えが出てきました。「そうだね、メモの取り方は、自分と違った視点でまとめられているのをメモしてね」



学習の指示



真剣な練習風景



発表を聴きながらメモ



工夫を凝らした発表

各グループの発表は、いずれのグループも工夫されていて、感心するものがたくさんありました。説明を行うのに、自分たちが効果的と思われるイラストや写真を入れ込んだり、キーワードを設定して、強調して伝えたり、プレゼンシートに手書きペイントを用いて強調したりと、大人顔負けの発表も多くみられて感心しました。

感想を聞かせてください

授業後に子どもたちに感想を聞いてみました。

「パワーポイントで発表シートを作成して発表するのはどうでしたか？」

「文字や声を大きくすることを、3年生の時に教わっていたので、それを生かすことができました」

「発表はうまくいきました？」

「緊張しすぎて、もうちょっと笑顔で話したかったです。友達の発表は上手でした。」

菅野先生にも聞いてみました。

「授業はいかがでしたか？」

「⑤段落のところからは、自分の考えも入れてまとめてほしかったんです。そこがもうちょっとがんばってほしいグループもあったので、もう少し、発表に入る前段階で、お互いの発表内容を聴いて、確認する時間を取り入れたかったですね。」

自分が伝えたいことを効果的に伝える、しかも価値に触れて、大人でも難しいテーマです。